

順化訓練の流れ

訓練羽数は 15 羽前後です。
トキのエサとなる水田の生き物が豊富な 6 月（春放鳥）と、
稲刈り後の刈田でエサを採ることが可能な 9 月（秋放鳥）の年 2 回放鳥しています。

訓練スタート



最初は 1 日 1 回給餌・1 人入室から始めます

1 日の給餌回数・入室人数を増やす



1 日 2 回（午前・午後）給餌・1 人入室→
2 人入室→複数人入室と入室できる人数
を増やしていきます

刈り払い作業



最初は刈り払い機の音を聞かせます。
音に慣れたら刈り払い作業の様子を
見せます。

運搬車接近



帽子や服装を替え
作業着でない色も見せます

放鳥
(ソフトリリース)



約 3 ヶ月間の訓練を終え、ケージから野外へ飛
び立っていきます。

放鳥口扉の開閉・開放

放鳥口扉開放

放鳥口扉閉鎖



今まで閉まっていた扉が開くことで、景色が変わり警戒して放鳥口へ来
なくなってしまうため、まずは開閉の様子を数日見せてから日中開放
します。放鳥日と同じ景色を見せ、開放時間を長くしていくことで、始
めは警戒していたトキも慣れると放鳥口が開いていても池へ集まるよう
になります。ケージの内側にネットが張ってあるので放鳥口扉を開けて
いてもトキが外に出ることはありません。

乗用車接近

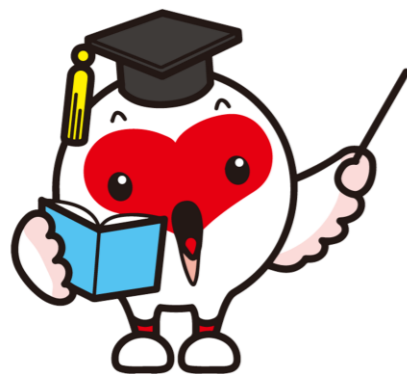


運搬車や軽トラック・乗用車はトキにとって初めて見る物なので驚いて
飛翔することが多いため、カメくらいのスピードで接近します。
運搬車等は翌日までケージ前に止め置きます。
人工物に警戒せず池で採餌することを目的としています。

軽トラック接近



訓練スケジュールを作成し、それに添って進めていきます。
約 3 ヶ月間かけて一つ一つ段階を経て人や人工物に慣れながら、
飛翔・採餌・社会性（群れ行動やコミュニケーション）など
野外で生き抜くための力を生活しながら身に付けていきます。



春訓練（3 月上旬～6 月上旬）は田植えを、秋訓練（6 月下旬～9 月下旬）は
稲刈りをケージ内の田んぼで行います。